

あきた起業家交流フェスタ2021

10月27日(水)、秋田拠点センターALVEのきらめき広場を会場に今年で6回目となる「あきた起業家交流フェスタ2021」が開催された。「起業家展示会」と「先輩起業家表彰」の2部構成で行われ、県内に拠点を構える起業家や起業を支援する関係機関が一堂に会した。活性化センターの妹尾明理事長は、開催にあたり「この機会に起業家同士のネットワークを広げ、さらなる事業の展開や新たなビジネスの誕生に繋げてほしい」と参加者へ呼びかけた。



先輩起業家に学ぶ！ 先輩起業家表彰

秋田県は、「あきた起業家交流フェスタ2021」に併せて「先輩起業家表彰」を実施した。この表彰は、県内で起業を目指す方々の意識を高めることを目的として創設されたもので、今年で3回目の開催。今年度は、ノリット・ジャポン株式会社 代表取締役 菅原久典氏が表彰された。菅原氏は、秋田県の魅力的な食材や文化を広め、食品産業を盛り上げるべく2009年に起業。県産品を使用した自社商品のブランド化やメーカーの販促支援、飲食事業への展開の他、グループ会社である株式会社恋する鹿角カンパニーで道の駅おおゆの指定管理業務を行うなど精力的な活動を続け、その実績が高く評価された。

県の佐藤徹産業労働部長は、表彰にあたり「起業がもたらす新しいサービスや働き方は、雇用や経済の活性化を通じて、地域の持続可能性を高めると考えている。これから起業を志している方々には、先輩起業家の姿をぜひロールモデルとして認知してもらいたい」と話し、来場者に向けて「先輩の活躍を参考にしながら、新たな挑戦に取り組んでいただきたい」と締めくくった。



佐藤 徹 産業労働部長

創業・起業家同士の交流の場 起業家展示会

県内を拠点に活動する創業・起業家の人脈づくりや情報交換を目的とする「起業家展示会」には計29社が参加した。食品や雑貨、映像制作等の魅力あふれるサービスを各ブースでPR。一般の来場者も含めて活発な交流が行われ、盛況のうちに幕を閉じた。



「起業家展示会」出展者のみなさん



受賞スピーチ

ノリット・ジャポン株式会社
代表取締役 菅原 久典氏
すがわら ひさのり



秋田県は、農業産出額が全国的に上位である反面、加工食品の出荷額が長らく下位に低迷しています。当社はこれを伸びしろと捉え、秋田の地域商社を目指して一つ一つアクションを起こしています。今なお試行錯誤の連続ですが、事業の継続にどれだけ覚悟を持てるか、その先に喜んでくれる方がどれだけいるのかを常に自分自身へ問いかけてきました。お客様のために仕事をし、その対価としてお金をいただき社員に還元するという流れが大切であることを、創業当時よりも強く感じています。まだまだできることは沢山あると思いますので、自分たちがハブとなり秋田の食品産業を盛り上げていきたいです。

参加者の声

「さとやまコーヒー」の販売、
農作物の生産・販売

合同会社秋田里山デザイン

代表 大西 克直氏
おおにし かつき



秋田県の耕作放棄地が全国平均を大きく上回るペースで増加している背景から、当社では、海外のコーヒー農家から仕入れた生豆を自家焙煎した「さとやまコーヒー」を作り、その利益を放棄された農地の開墾に充てています。

私は県外出身ですが、秋田の自然や景色をもっと生かしたいと思い、秋田で起業しました。今後はECサイト等を通し、より多くの方に活動を知っていただき、耕作放棄地の課題に取り組む仲間とネットワークを構築していきたいです。

アップサイクル商品の
製造・販売

World Products X
ワールド プロダクツクロス

代表 山田 珠美氏
やまだ たまみ



残反や処分されるシーツ、古着等を利用して新しいデザインの衣料品を生み出し、衣類廃棄の削減を目指しています。現在、不要になった衣類の8割ほどは、埋め立てや焼却で廃棄されています。アップサイクル業界に身を置く中で、この事業が地球環境を守るために必要なことだと考え起業しました。繊維で生計を立てている海外の家庭の支援のため、製品にはそれらの生地をアクセントとして取り入れています。事業を通して「Upcycle in Japan」の考え方を広めていきたいです。

地熱ドライフルーツの製造・販売

manzke ~赤い実たべる~
マンズケ & KASEDE
カセデ

(右) 大沢 沙織氏
おおさわ さおり
(左) 古賀 恵理子氏
こが えりこ



小安峡にある地熱乾燥施設でドライフルーツを作っています。施設の利用者が年々減っていることから、より多くの方に施設の存在を知ってもらい、利用者を増やすことに繋がればとこの事業を始めました。「せっかく育てた果物を廃棄したくない」という農家さんの声を受け、規格外品や摘果した果物も商品化しています。スイカや桃、イチゴなどは若い世代にも興味を持ってもらえると思います。今後お土産にも選ばれる自慢の地域産品にしていきたいです。



左:佐藤 徹 産業労働部長 中央:ノリット・ジャポン(株) 菅原久典氏 右:妹尾 明 理事長